

南部せんべい手焼き体験会

2021.5.4 10:00~12:00

1 南部せんべいの歴史

南部せんべいの始まりは、南北朝時代、長慶天皇が名久井岳の麓(現在の三戸郡南部町)を訪れた際に、食事に困った家臣の赤松助左衛門がそば粉と胡麻を自分の鉄兜で焼き上げて献上したという説が広く知られています。(諸説あり)



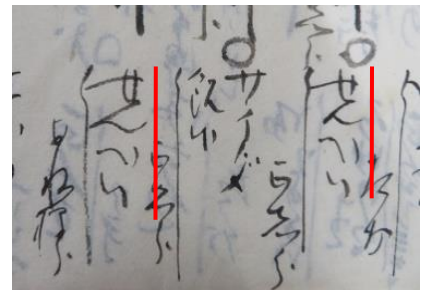
2 六ヶ所村でも食されていた!

郷土館には二又地区の秋戸元太郎さんや尾駱地区の高橋モエさん、泊地区の方からせんべいの焼き型が寄贈されています。



寄贈品の焼き型

また、高橋モエさん寄贈の大正3年の大福帳にもせんべいの記載があります。



寄贈品の大福帳

3 南部せんべいの焼き方

小麦粉と水を練って「タネ」を作り、焼き型に入れてプレスしながら焼きます。(おもて1分、うら1分)



5月4日(火)に手焼き体験会を開催します!
伝統的な南部せんべいを焼いてみませんか?